

国際学会参加補助募集案内

日本広告学会では2012年度より研究活動の国際化並びに研究水準の向上を目的として、広告関連の国際学会で報告を認められた会員に対して助成を行っております。これまでに若手研究者9件、個人正会員6件、計15件に助成を行い、その成果を全国大会あるいは所属部会で報告していただきました。但し、昨年度は、ここ数年続くコロナ禍の影響により国際学会の開催も限定され、それに伴い参加補助申請もございませんでした。今年度、国際学会の開催は限定的とは思われますが、国外の学会および研究者との交流を通して、本学会の研究活動がさらに活性化することを期待しております。

●若手研究者の国際学会参加補助のご案内

2022年度の国際交流助成事業として、若手研究者を対象に、国外の広告関連学会での研究報告を行うための助成を実施いたします。この助成は、若手研究者の育成と国際交流を促進することを目的としています。尚、本年度もオンラインでの学会参加のための補助を行うこととします。

1. 助成対象学会

2023年に開催されるアメリカ広告学会(AAA)年次大会およびグローバル・コンファレンス、ヨーロッパ広告学会(EAA)の年次大会。ただし、これらの学会でも日本国内で開催されるものは助成対象としない。

2. 応募資格

①未発表の論文が、上記のいずれかの学会で研究報告をすることが確定している方(個人研究、共同研究のどちらでもよいが、共同研究の場合は、発表者に限る。ただし、フルペーパーによる審査を経ずに報告が認められた場合、あるいは研究報告とは異なる special topic session での講演等は除外する。)なお、「未発表」の範囲は、『広告科学』編集方針に定められている掲載基準に準じる。

②応募時に大学院博士前期課程または後期課程に在籍している方、または大学院修了から5年未満の方(所属は研究機関以外でもよいが広告研究に従事していること)

③今年度および過年度の年会費を2023年4月1日までに納入済みであること(共同研究の場合は、全員が会費納入済みであること)を条件とします。

④同一会員に対して、1年間に1回のみ助成します。尚、オンラインでの学会参加については、別途1回まで認めることとします。ただし、若手研究者としての海外渡航を含む助成を受けた場合、次の助成まで3年間空ける必要があります。オンラインでの学会参加については、1回まで海外渡航を含む助成の3年間の条件から除外します。

外部機関あるいは本学会から他の助成を受けていても応募できます。

3. 応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、対象学会からの報告許可を証明する書類および論文の写しを添えて、学会本部事務局宛でのeメールに添付して送付してください(jaa.headoffice@gmail.com)。なお、送付するファイルはすべてPDF化し、メールの件名には「国際学会参加補助申請」と明記してください。

応募用紙は、学会ホームページにアクセスし、ダウンロードしてください。

4. 応募期間 (2023年3月1日~2023年5月31日)

5. 助成額および採択件数

1件10万円、2件まで助成します。費用は主に交通費と参加費の一部として支出することとします。*但し、オンラインで参加の場合には、渡航がある申請を優先し、

余剰金額があった場合のみ、実費としてかかった費用の内上限2万円の助成を行うこととします。

6. 審査方法

常任理事会で採否を決定します。

7. 派遣後の義務

助成を受けて学会報告をした方は、帰国後（オンライン開催の場合には大会終了後）に必ず学会本部に報告書を提出し、所属部会または全国大会で、報告してください。なお、その際には研究業績の二重カウントを避けるために、報告タイトルに「～：A A A報告」といった但し書きをつけてください。

●個人正会員の国際学会参加補助のご案内

2022年度の国際交流助成事業として、常勤研究者を対象に、国外の広告関連学会での研究報告を行うための助成を実施いたします。この助成は、中堅以上の会員の研究水準を底上げし、学会全体の研究能力向上と国際交流を促進することを目的としています。尚、本年度もオンラインでの学会参加のための補助を行うこととします。

1. 助成対象学会

2023年に開催されるアメリカ広告学会(AAA)年次大会およびグローバル・コンファレンス、ヨーロッパ広告学会(EAA)の年次大会。ただし、これらの学会でも日本国内で開催されるものは助成対象としない。

2. 応募資格

①未発表の論文が、上記のいずれかの学会で研究報告をすることが確定している方(個人研究、共同研究のどちらでもよいが、共同研究の場合は、発表者に限る。ただし、フルペーパーによる審査を経ずに報告が認められた場合、あるいは研究報告とは異なる special topic session での講演等は除外する。)なお、「未発表」の範囲は、『広告科学』編集方針に定められている掲載基準に準じる。

②常勤研究者で入会5年を経過している方

③今年度および過年度の年会費を2023年4月1日までに納入済みであること(共同研究の場合は、全員が会費納入済みであることを条件とします。

④同一会員に対して、1年間に1回のみ助成します。会員一人あたり、2回まで助成します(若手研究者として受けた助成は含みません)。尚、オンラインでの参加については、別途1年間に1回まで認めることとします。ただし、個人正会員として海外渡航を含む助成を受けた場合、次の助成まで3年間空ける必要があります。オンラインでの学会参加については、1回まで海外渡航を含む助成の3年間の条件から除外します。

外部機関あるいは本学会から他の助成を受けていても応募できます。

3. 応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、対象学会からの報告許可を証明する書類および論文の写しを添えて、学会本部事務局宛でのeメールに添付して送付してください(jaa.headoffice@gmail.com)。なお、送付するファイルはすべてPDF化し、メールの件名には「国際学会参加補助申請」と明記してください。

応募用紙は、学会ホームページにアクセスし、ダウンロードしてください。

4. 応募期間 (2023年3月1日～2023年5月31日)

5. 助成額および採択件数

1件10万円、2件まで助成します。費用は主に交通費と参加費の一部として支出することとします。*但し、オンラインで参加の場合には、渡航がある申請を優先し、余剰金額があった場合のみ、実費としてかかった費用の内上限2万円の助成を行うこととします。

6. 審査方法

常任理事会で採否を決定します。

7. 派遣後の義務

助成を受けて学会報告をした方は、帰国後に必ず学会本部に報告書を提出し、所属部会または全国大会で、報告してください。なお、その際には研究業績の二重カウントを避けるために、報告タイトルに「～：AAA報告」といった但し書きをつけてください。

以上

(注) 今後は対象学会を拡大することも検討する予定です。

問い合わせ先：日本広告学会本部事務局 jaa.headoffice@gmail.com

電話でのお問い合わせにはお答えすることができません。また、常勤の事務担当者がおりませんので、ご返信に1週間以上かかる場合があることをご了承ください。